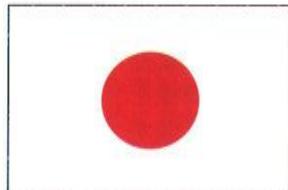


久喜市・ローズバーグ協会だより

発行 久喜市・ローズバーグ協会

発行日 2017年5月1日



10月8日 ローズバーグ市役所市議会室にて



7月24日 ローズバーグ中学生親善訪問団、お別れ会 会場／鷺宮西コミュニティーセンター

2016年国際親善交流(派遣) 10月6日(木)~10月15日(土)

心に残る歓迎会

10月6日、歓迎会会場のローズバーグカントリークラブでは、部屋の正面に久喜市ローズバーグ協会で贈呈した5mの真鯉を飾り、28年に来日したローズバーグ協会の訪問団を旗を振って歓迎している長龍寺幼稚園児の映像をDVDで流し、私達訪問団を温かく歓迎してくれました。

私達は、お会いできたホストの

皆さんと喜び合い、記念写真を撮ってから会場の席につき、トム・ライアン市議会議長、トーマス・マクレガー協会会长、小峯静江副会長、通訳



ホストの皆さんと、ローズバーグカントリークラブにて記念写真

ローズバーグ市内見学の1日

森澤詩子

オレゴンの錦秋が私達を迎えてくれました。私達はローズバーグ市の公共機関の集まっているエリアに到着、警察署、消防署、市役所とまわり何處でも大変好意的に歓迎され、システムの流れ等、とても解りやすい案内でした。

昼食後アンプクワ市民短期大学内を散策、美術センターには、1999年ローズバーグと菖蒲の交流記念樹と、2014年20周年記念樹の桜が大きく枝をひろげ、ローズバーグの地にしつかり根付いていました。館内には久喜市からの作品、書、絵画、キルト等、数多く展示されており、久喜市とローズバーグ市との交流の深さと歳月を感じられ感動の1日でした。

ハロウィンのかぼちゃのカービング体験

新井良江

私達は、アンプクワアートセンターにてハロウィンの説明を聞いた後、大きなかぼちゃに顔をくり抜き、目、鼻、口を掘っていく作業をしました。意外にかぼちゃが硬く、なかなか掘れず苦戦しながら一生懸命作り、楽しいひと時をすごしました。完成後記念写真を撮り、地元新聞にも掲載されました。



地元新聞に掲載された写真

ポートランドバス旅行記 —ナイキ本社見学—

山田銀子

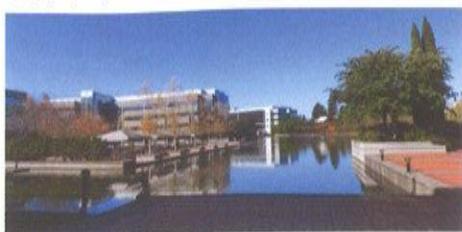
今回は、ポートランドをより深く広く知ることのできる滞在型のバス旅行を計画していただきました。(10月11日~10月13日)

10月11日、心温まるおもてなしをしてくださったステイ先の家族、ローズバーグ協会の皆様に感謝の意を告げてバスに乗車。ナイキ本社(普通見学不可の由)に向かいました。私の持っていた会社のイメージ(?)

とは全く異なり、そのスケールの大きさに圧倒されました。玄関の植栽や池、各建物・競技場・プール・カフェテリア等々、豪華で広く美しく、働く場所と言うよりもまさにworld campusと呼ぶに相応しい所でした。さすが「世界のナイキ」と驚きました。スポーツ靴の製造・販売で起業したナイキは、創業時に使用したミニバンを常設展示することで原点を見失うなという精神を具現しているものと感じました。

一休みの後、バスでポートランドの古き良き町の見学に出発。

—以下略—



ナイキ本社 建物の一部と池、植栽

2016年中学生国際親善交流(受入) 7月15日(金)~7月25日(月)

久喜市を訪問して

引率者 ポール・ウィットウォース

この度は、皆さんのお招きいただき本当にありがとうございます。私にとって久喜市を訪れるのは今回が2回目でした。

今回の旅で、私は久喜の新しい面に気が付くことができました。そして久喜の人々が積極的に新しい友人とつながりを求め、自分たちのものとは大きく異なる集団・文化に触れようとする姿を目の当たりにしました。

世界中が混乱している現代で、この交流プログラムはとても重要なものです。私たちからすれば、友好関係を築き互いを理解し合うことはこんなに簡単なことなのです。私たちは言葉も宗教も政治も食べ物もスポーツも趣味も異なる人間ですが、心と心は通じ合っています。75年前、私たちの国は敵対していました。このプログラムが始まって30年以上経ち、今は友好関係を築いています。ぜひともこれからもこのプログラムを続けて、世界中に「友だちになることがどれほど簡単であるか」を示していきましょう。

久喜市にホームステイして

ジョセフレーン・ミドルスクール イザベラ・コリンズ

久喜のすてきな方々とこのような素晴らしい旅をすることができ、非常に光栄です。このプログラムを先導して下さったリーダーの皆さんに感謝したいです。

今回、私はたくさんの友人、思い出を作ることができ、素晴らしい経験をすることができました。日本を離れることで寂しい思いがありますが、ここでの友達は永遠に私の心の中にいます。ありがとうございました。



行田市 忍城見学
ローズバーグ中学生

久喜市を訪れて

ジョセフレーン・ミドルスクール マーゴ・ボイド

皆さんの国を訪れ、いろいろと見て回ることができるということは素晴らしいプレゼントのようなものです。私たちのために計画してくださった素晴らしい数々のアクティビティを待ちきれません。去年私がみなさんをお招きしたときにもとても楽しい時間を過ごすことができましたが、またみなさんとお会いできるのを心の底から楽しみにしています。

ローズバーグを訪問して

初めてのホームステイ

菱沼 千恵子



バービさんご夫妻と私

初めて訪れる街、初めてお会いする人達、初めて伺うお宅…、そこで暮らす五日間。特にカタコト英語の私は、ホストファミリーにお会いするまでは、不安でいっぱいでした。

しかし、表現力豊かなバービィご夫妻の温かいお心遣いのおかげで、すぐに不安は解消！一緒に農作物を収穫して料理したり、露天風呂で星を見たり、野生の鹿に驚いたり、ご夫妻の友人にお会いしたり…、毎日が新鮮で、夢のようなホームステイでした。バービィさん、協会の皆様、ありがとうございました。

初めてのローズバーグでみつけてきたこと

山田 喜子

私たち夫婦は、昨年会員になりホームステイを受け入れ、今年はローズバーグ訪問という初めての経験を致しました。その中に心のあたたかさがあります。幼稚園を視察した時、兄弟やお友達の接し方に遊びを通して自然に身につけて行くやり方や情操教育の大切さに改めて触れる事が出来ました。更に生活を共にする中で、自分の特技である生け花が役に立ち嬉しかったです。

この度この様な貴重な体験をさせて頂けました事に対し、長い間培ってこられた菖蒲の皆様のご努力と心のあたたかさに触れ心より敬意を表します。



ドキドキワクワクローズバーグ
のはじまりです

故 小山千秋さんと日本庭園



“和”的モニュメント



故 小山千秋さん

小松 寿美子

ローズバーグのディスカバリー
ガーデンにある日本庭園は、千秋さんにとって我が子同様に慈しみ育てた庭です。

姉妹都市交流を通じて友情を深めたウッド氏が所属していたマスター・ガーデナーの人達が日本庭園を造るという計画を聞き、千秋さんは設計の段階からアドバイザー

として参加し、ウッドさんが計画半ばで亡くなられた後も資金援助のため2回ほどローズバーグで泰子さん共々、盆栽、生け花、茶道等の講座を開設して収益金を寄付し、又訪問の都度ガーデナーの人たちと一緒に庭園の手入れをしながら日本庭園の本当の姿を教えてきました。

マスター・ガーデナーの人たちは、千秋さんを日本語で“せんせい”と呼び、名誉会員として尊敬しておりました。公園の中にある“和”的モニュメントは、千秋さんの功績をたたえ送られたものです。ガーデナーの皆様の尽力で、日本庭園はいつも美しく保たれています。

ローズバーグの日本庭園

今村暢子

二十八年度訪問団の一員として、かねてより見学したかった日本庭園を見学しました。

夕暮れの淡い西陽の光を集めて、美しくチリ一つなく、よく手入れされてありました。

入口には、バラ、ダリアの花。日本庭園は「小山千秋メモリアル」と案内板に記され、もみじをはじめ沢山の木々に囲まれていました。

敷きつめられた砂利の上を歩くと、静寂の中に威厳さえも感じられ不思議な気持ちでした。

今年は、日本庭園並びの子供公園にて、沢山のイルミネーションを飾り大勢の方達に来ていただき、その収益はチャリティで寄贈されていると聞きました。単なる公園でなく、皆が楽しめ幸せになれる公園になっている事を知りました。

日本庭園を設立する為に、小山千秋先生はじめ、ローズバーグ関係者、皆様に敬意と感謝の気持ちを。そして末永くこの心のつながりが続いてゆく事を心から願っています。



日本庭園入口
「小山千秋メモリアル」と記された案内板

会員募集

ローズバーグ親善訪問団が来市します。ホストファミリーにご参加下さい。
あなたも異文化の方と気兼ねなく友達になる良い機会です。



2017年 友好親善訪問団(受入)

受入日程

平成29年10月20日(金)～10月28日(土)

連絡先

久喜市・ローズバーグ協会事務局 新井良江

電話 0480-85-1859

FAX 0480-85-1859

編集責任者／小山泰子 小峯静江